

http://www.minamih.net/



12・8・19(日)  
南NEWS NO29

八王子招待少女サッカー大会で優勝しました。片寄優やあと数名主力が不在でしたが、しっかりと底辺のレベルアップを感じることでできる大会でした。

## 第17回八王子招待少女サッカー大会 (上柚木競技場)

◆リーグ戦 (8/11)

○南八王子 対 MYFC 7-0 (前半2-0)

○テーマ 『ゴールを目指す』『1対1で負けない(取られたら取り返す)』

得点者 井上さん(3)、大塚さん(2)、片寄 M さん(2)

「ゴールを目指す」というテーマを通りにたくさん得点がありましたが、前半は雑な攻撃や相手キーパーの堅守に苦しみ、なかなか得点になりませんでした。

上手いキーパーが相手なら、シュート前にキーパーの位置をしっかりと確認する、出てくるキーパーならかわしてシュートする、という基本ができていなければなりません。

後半はそこが修正できました。そして、ほとんど相手に攻撃をさせずに試合が進められたのは中央のMFをやった片寄 M さんの運動量。守備から攻撃まで蒸し暑い中、ピッチを走り続けてくれました。



○南八王子 対 鹿島 11-1 (前半8-1)

○テーマ 『DFラインは蹴らずになるべくつなぐ』『セットプレーでは避けない』『積極的に仕掛ける』

得点者 井上さん(6)、大塚さん(2)、片寄 M さん(2)

1試合目同様、南八絶対的エースで点取り屋の片寄 Y さんが怪我で不在の中での試合でしたがその代りに一人で6得点もしたのが5年生の井上さんです。見方からの裏パスに素早く反応するとランウィザボールからトップスピードへ加速し相手のゴールに的確にシュートを放つプレーは圧巻でした。

その中でも大塚さんが絶妙な裏へのスルーパスが井上さんにわかりました。一旦はドリブルをしペナルティーエリア外からクロスを上げるのかと思いきや、ゴールライン約3m手前ぐらいからゴールに対してほぼ角度のないところからのゴールに突き刺さるシュートは圧巻でした。クロスもあげられたと思いますが第1にシュートを選択したことは立派だと思いました。

そして、この試合1番の最高なプレーは後半、南八のコーナーキックのシーン。大塚さんのナイスなコーナーキックを片寄 M さんがドンピシャ！久しぶりに気持ちのいい得点でした。そのほか片寄 M さんからのクロスが平山さんが合わせ結果ゴールとなりませんでした。ボールを避けずにチャレンジするスタイルは立派でした。

この試合で思ったことはコーナーキックのセットプレーや見方からのクロスを避けずにボールに向かっていけば、たとえゴールにならなくても多様なチャンスになるのだと思いました。(報告：長岐コーチ)

○南八王子 対 東加平 1-0 (前半0-0)

○テーマ 『浮き球を後ろにそらさない』『積極的にゴールを狙う』

得点者 井上さん

勝ちか引き分けで1位通過ができるこの試合。相手は南八より体と身長が一回り

大きな東加平です。この相手はあんまり相性がよいイメージがなく苦戦するイメージがありましたその通りになってしまいました。

結果は勝てましたが攻撃面ではゴール前まで行くのにシュートが決めきれない。シュートを何本もキーパー正面に打つなどすべて決まっていれば苦しい展開にはならなかったと思います。守備では時々集中力が切れてしまうのか中途半端なアプローチや弱いパスなどありましたが結果勝てたからよし・・・というわけではなく勝つことができたけど課題が残るような試合でした。しかし、暑い中で絶対的エース不在の中3戦全勝し1位通過できたことは立派でした。優勝めざし次の日も頑張ろう！(報告：長岐コーチ)

◆上位トーナメント (8/12)

○(準々決勝) 南八王子 対 藤野 1-1 (前半1-1) PK 2-0

○テーマ 『ゴールを目指す』『蹴らないでドリブル、つなぐ』

得点者 漆間さん

立ち上がり1分に右サイドを突破した片寄 M さんのクロスが漆間さんがしっかりと合わせたファインゴールで先制します。その後、相手のコーナキックに対してマークが甘くなり同点シュートを決められてしまいました。日差しが強く蒸し暑い中で選手の運動量と集中力が徐々に落ちてきます。その後は結局お互い攻めきれずに、PK戦になってしまいました。PK戦では、片寄 M さん、小沢さんがきっちり決めてくれました。そして PK 戦でキーパーをやってくれた大塚さんが見事に1本止めてくれて勝利を獲得しました。

負ければ、そこで終わりの決勝トーナメント。ベスト4に残り、なんとか後2回試合を楽しむことができることになりました。

○(準決勝) 南八王子 対 高島平 2-1 (前半0-1)

○テーマ 『ゴールを目指す』『取られたら取り返す』

得点者 小沢 M さん、漆間さん



前半5分に DF とキーパーの連携ミスから失点してしまいました。その後守備は、辻内さん、平山さん、そして次々交代で入る伊藤姉妹、山宮さんが1対1でしっかりと守ってくれましたが苦しい試合となりました。攻撃は大塚さん、片寄 M さん、漆間さんを中心に攻め込みますが、なかなかシュートまで持ち込めずに気持ち的にもだんだん苦しくなってきます。蒸し暑さがさらに集中力を奪っていくように見えました。

ハーフタイムでは暑さから少し弱音まで聞こえました。そこ FW で走り回って体力的に苦しくなっている大塚さんをスイーパーに、そして守備の要の小沢さんを攻撃的 MF にします。大塚さんにとっては練習試合でもやったことのない初めてのポジション、決して褒められる作戦ではありませんが、できるだけ簡単に処理(クリア)することを指示しました。守備の面ではこれが当たり、危ない場面はほとんど作られることはありませんでした。一方攻撃でも、こうしたクリアボールに小沢さんや片寄 M さんが反応して、DF の裏に抜け出してチャンスを作ります。2得点はいずれも小沢さんの突破から。1点目はドリブルで抜けだし、DF をかわしてキーパーの位置を良く見た素晴らしいシュートでした。2点目も同様にドリブルで右サイドを抜け出して、角度のないところからシュート気味のクロスに対して、漆間さんがうまく押し込んでの得点でした。苦しい状況でも最後まで走りきれる体力で逆転し決勝進出。とても頼もしいチームになりましたね。

b y 飛田コーチ

(決勝) 南八王子 対 なかの 4-0 (前半0-0)  
テーマ 『ゴールを目指す』『1対1で負けない(気持ちで負けない)』

得点者 大塚 (3)、片寄 M

お互いによく知っている相手同士の決勝戦。「なかの」さんは FW の選手がポストとなり、ボールをサイドに散らしてサイドから攻撃を仕掛けてきました。こちらはいつも通り、ドリブルを基本にショートパスで攻め上がりました。前半はお互いにチャンスはあったものの0-0。勝負は後半となります。ハーフタイムでの指示は1つだけ、「気持ちで負けないこと」。32℃を超える気温の中で、試合時間40分の実に3試合目。体力は限界に近かったからです。そして後半はまさにその通りの「気持ち」で苦しい状況を打開してくれました。3分、7分に大塚さんが立て続けにドリブルで抜け出してシュートを決め、さらに10分には片寄 M さんからのクロスに合わせて、大塚さんはなんとハットトリック。その上に、顔を真っ赤にしなが走り回っていた片寄 M さんもだめ押しゴールを決めてくれました。その後、何度かゴール前にボールを放り込まれますが、キーパーの飯島さんがフットワーク良く動き回って、ペナルティエリアを飛び出してのクリアや安定感のあるキャッチングでピンチの芽を確実に摘んでくれました。ベンチの全員が出場しましたが、試合は危なげなくそのまま終了し、なんとこの大会初優勝となりました。

今年のこの大会は、お盆お休みと重なり主力数名が里帰りでないだけでなく、エース片寄 Y さんが足の怪我で参戦できず、さらにこの日は、初日大活躍だった井上さんが東京都トレセンのセレクション参加で不在という状況でした。こうした苦しい事情の中での優勝は本当に立派だと思います。普段ベンチスタートだった曾根さん、平山さんは主にサイドバックをやってもらいましたが、1対1でとても強いところを見せてくれました。また伊藤姉妹や山宮さんも初めて DF をやって、戸惑いもあったようですが、無難にこなしてくれました。みんな確実に成長していますね。

さて優秀選手ですが、苦しい決勝戦でハットトリックで大活躍だった大塚さんが選ばれました。おめでとう。